

はじめまして。JBN 学生部会代表の遠藤優です。

JBN 学生部会は、日本クマネットワークに所属する若手を中心に結成された JBN の下部組織です。若手会員間の交流や情報交換、クマの普及啓発活動に力を入れています。今回から 4 回にわたり、学生部会有志によるクマの調査研究を紹介します！本連載をきっかけに、学生が普段どんな調査・研究活動をしているのか知っていただければ幸いです。

JBN 学生部会企画 ～私のクマ研究・活動紹介～ 第 1 回

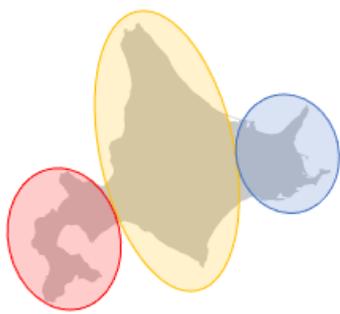
【ゲノムで紐解くヒグマの歴史】

北海道大学理学院修士 2 年 遠藤優

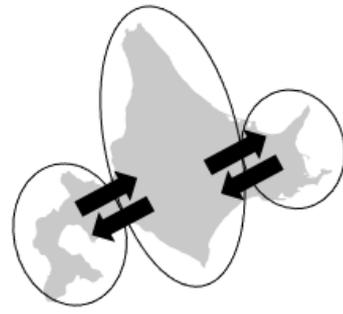
皆さんはなぜ、大陸に生息するヒグマが北海道にいるのか、疑問に思ったことはありませんか？

これまで行われたヒグマの DNA 分析により、大陸のヒグマと異なる時期に分かれたと考えられるグループが道南・道央・道東の 3 カ所に分かれて分布すること（研究①）、これらのグループ間をオスが移動していること（研究②）が明らかになっています。この結果から「北海道のヒグマは 3 回にわたって北海道に渡来し、遺伝的に異なるグループの間で交流している」と推察されていますが、その過程でどのような個体数の変化やグループ間での交流があり現在の集団が形成されたのか、詳細はよく分かっていません。

私の研究では、ヒグマのゲノム上の変異から、個体間における違いを検出することで、北海道のヒグマの集団形成過程を明らかにしようとしています。解析はコンピューターを使った作業が大半なので、フィールドでクマを観察したくなることもあります。このようなアプローチからも新たな知見が得られると期待し、研究を続けていきたいと思っています。

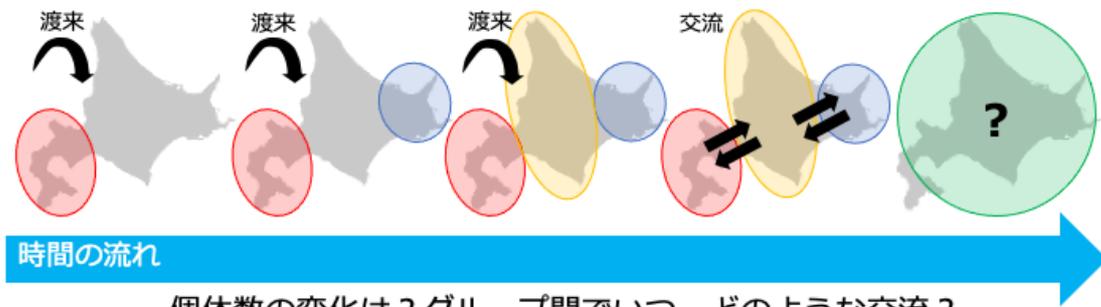


研究①
(Matsuhashi et al. 1999)



研究②
(Hirata et al. 2017)

推定されている北海道のヒグマ集団の歴史



時間の流れ

個体数の変化は？グループ間でいつ、どのような交流？